

湯ノ丸山でスノーハイクを慢喫！

K 藤

十一月下旬オープン予定だった湯の丸スキー場が、やっと営業を部分的に開始して、という暖冬の状況で、少ない目の雪が想定されましたが、初志貫徹、K 藤車で、一路、地蔵峠へ。地蔵峠着が九時過ぎ、上り出しが九時半。

まずは、夏道を無視して、まだリフトの動いてないゲレンデをジグザグに進みました。ゲレンデトップから牧場の中へと入り込んでゆくと、正面に、湯ノ丸山の横長のどっしりとした姿が目に見え込んできました。雪は深くてもふくらはぎ程度でした。

笹原もところどころ顔を出して、みなさん、アイゼンもワカンも使わず、順調に高度を上げていきました。頂上直下の急登も、ゆっくりではあるが、リズムカルに、よどみなく進んでいきます。チームワークもよく、5人の列が間延びすることもありません。ほどなく、傾斜がゆるくなるとやがて、平らな山頂に到着しました。

頂上では、360度の展望が待っていてくれました。北から妙高・火打、白馬・五竜・鹿島槍、剣・立山、薬師周辺、槍穂、乗鞍、御嶽山、中ア、南ア、八ツ、富士山、

奥秩父、山座同定オタクの私には目の毒のようなパノラマでした！

ところが、そんな絶景の山頂で、寒さで鼻水をたらす者続出の事態。笑。となり、記念撮影の後、一目散に風の穏やかな中腹へ。

中腹でランチタイムの後、アイゼンを装着する人三名、めんどろくさく何も付けない人二名で、下山開始です。

途中、ツツジ平からキャンプ場への道へと分け入ると、尾根筋の道より雪が幾分か深く、アイゼン歩行の練習にちょうどいいコースでした。

チームでの雪の山は、今シーズン初めてでしたが、和気あいあい楽しい山登りになりました。皆さん、どうもありがとうございました。

ございました。

雪の山が好きなので、これからもいろいろ企画したいと思いますので、皆さん奮ってご参加ください。

十二月六日

メンバー O 栗、S 々木 M、I 村、島 D、K 藤(記)

コース 地蔵峠―ゲレンデ經由―牧場―ツツジ平―湯ノ丸山―ツツジ平―湯ノ丸キャンプ場―地蔵峠

